

人間の安全保障無償資金協力：セテ・バハス市保健所建設計画



2004年10月28日（木）サンパウロ州セテ・バハス市において、同市に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の引渡式が開催されました。

同引渡式は、資金協力により建設された同市保健所において、セテ・バハス市からアデミール・カバタ市長、保健局長、保健所長ら市関係者、日系団体からエンドウ同市文化協会会長代理ら日系人関係者及び周辺住民など約70名が出席して盛大に実施されました。

>>顕彰プレートの除幕をするカバタ市長（左）と石田総領事

式典では、カバタ市長が「保健所と病院を連携させることが市民の長年の夢であり、前市長が建設した救急病院隣接地に、今回日本政府の協力を得て保健所を建設できたことに感謝します。今後、この保健所の医療サービスを通して、乳児死亡率、風土病発生率の低下等の目標達成に努力します。」と挨拶したほか、石田総領事、エンドウ文協会長代理の挨拶、顕彰プレートの除幕式、施設の紹介などが行われました。



祝辞を述べる石田総領事、右隣は
カバタ市長 <<



○ 上記案件のプロフィール

案件名：「セテ・バハス市保健所建設計画」

被供与団体：サンパウロ州セテ・バハス市

契約署名日：2004年1月13日

供与限度額：US\$80,770



新設なった保健所外観

案件概要：

本件協力は、同市がかねてより力を入れている地域医療をさらに充実させるために、老朽化し手狭となった保健所を市の救急病院隣接地に移転し、同時に臨床検査機能の強化、病院との連携強化による診療の質向上を図るため新たに保健所を建設する計画を支援したものです。



本件協力により、セテ・バハス市民約1万4千人が裨益することになり、妊婦への指導助言の強化、乳児死亡率の低下（同市の乳児死亡率は17.79/1000でサンパウロ州全体の値15.85/1000より高い）、病院との連携による診療効果の増大などが期待されます。

<< 保健所内部